

週報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに



Vol.42 第2082回例会

2009.6.25

今年度会長テーマ

(あい)に感謝 そして 実践しよう
ロータリーの志魂(こころ)

■司会：
當間例会運営委員長



■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「それでこそロータリー！」



◆ソングリーダー：
村田会員

■お客様紹介：土方パスト会長



◆ゲスト：
福生RC
次年度ガバナー補佐
松本信弘様



◆ゲスト：
福生RC
次年度分区幹事
佐竹庄八様



■会長報告

町田会長

10数年前、小久保晴行パストガバナーのロータリークラブの運営の基本について、相田みつおの詩で、たとえられたのを今でも印象に残っております。

「背筋をのばして 肩肘はらず すんなり さらさら ゆきましよう 水のように それがなかなかできない わたしでありました。」

ロータリーとは、この世の中で正しい生き方、所謂、社会秩序を外れる事がなき倫理、道徳心を常に心をして道義の人たるべしで、世のため、人のため、何か尽くそうと、奉仕の理想をもって、明日に向かって努力している人の集まりであるとも、説かれていました。私は、入会時はロータリーとはお金を出して済ませる寄付奉仕事業団体であると強く感じていましたが、国際ロータリーがロータリーの理念を説明するものとして次の声明文を出してありましたのを知りました。それは「ロータリーを人道的な奉仕を行い、全職業界における道徳的水準の高揚を奨励し、全世界に善意と平和を築く為に、国際的に結ばれた職業人の団体である」としています。ロータリーとは、アーサー・シェルドンが言っています事を、自己流に解釈していますのは、「正しい方法で利益を出す職業倫理がロータリーの根幹であり、社会奉仕という言葉のうらで慈善団体であっては成らない筈であり、そして国際奉仕をもって奉仕の理想を展開してきている集団である。親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団であり、自ら磨く人生道場である」と思っております。なぜここで集団という言葉を使っているかと言えばロータリーは規則的、持続的な相互関係をもつ個体の団体が適切であると考えます。何故ならロータリーは基本的には団体として奉仕する団体 We ServeではなくI Serveとして奉仕を志した者で、これを実践しようとする人たちの集まりであるからであります。社会奉仕を個人であるのか？クラブでするのか？の方法論争が基でライオンズクラブが出来た原因であり元ダラスRC会員メルビル・ジョンが創立したと聞いています。ロータリーが行った最初の社会



■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／高橋 眞 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

奉仕としてはRC会員では、だれでもご存知であるが公衆便所でシカゴ市役所より日本のロータリアンは横にある公衆便所のほうが興味があるかと思えます。ロータリーはアメリカのシカゴで一般市民としての間で起こった庶民クラブであったのに、なぜか日本の創立会員のメンバーを調べたら、銀行家、有名会社の経営者や重役等の財界人で占められていた。中に異様な職業分類と思ったのは清水釘吉清水組組長というからヤクザの親分かと思ったら組長ではなく組主と書いてあった。さて、ご存知のことですがクラブ年会費はクラブの運営をまかなう運営費でありまして奉仕に対するお金は含まないのが原則になっています。ですから、一つの奉仕活動に対して会員の皆さんに資金等をお願いしていますが、このことで金集めの会であるような印象を受けることが唯あります。実際にそのように明言されているパスト会長もいらっしゃいますが、ロータリーの特徴を少し認識を変えて頂ければと、僭越ながら思うところがあります。ロータリーの倫理訓を復唱いたします。

四つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

以上で会長あいさつといたします。ありがとうございました。

幹事報告

相羽幹事



■ガバナー事務所：

- ・ブルーリボンパッチ(拉致被害者家族支援)の受理
- ・当地区ホームページ「例会卓話予定」掲載について毎月20日までに翌月の卓話プログラムを報告する(メールのみ、FAX不可)
- ・第10回日韓親善会議プログラムの受理について2009年9月4日(金)～9月5日(土)

■国際ロータリー日本事務局：

7月のロータリーレート 1ドル=98円

■次年度社会奉仕委員会：

(在京)クラブ社会奉仕委員長会議の案内について
2009年7月21日(火) 15:00～17:00
懇親会 17:00～19:00
於 弘済会館

■回覧：「友」インターネット速報 No.386

■例会変更：

所沢中央RC 6月28日(日) - 最終移動例会

出席報告

吉川例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
38	33	1	4	88.24

■前々回メイクアップ修正後前々会欠席：2名

■前々回出席率メイクアップ修正後：94.29%

■前々会メイクアップ者：

金子会員：所沢中央RC

神崎会員：分区連絡会



ニコニコBOX

五十嵐クラブ管理委員

◆町田会長：一年間ご協力ありがとうございました。

◆相羽幹事：一年間ご協力ありがとうございました。

◆野澤会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆五十嵐会員：

町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆神崎会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆杵山会員、高橋(眞)会員：

町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆野崎(一)会員：

町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆當間会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。又、例会運営委員会にご協力ありがとうございました。

◆高橋(眞)会員：

クラブ管理委員会の皆様、一年間力強く支えて頂きありがとうございました。次年度もよろしくお願ひします。

◆二ノ宮会員：

町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆田中会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆木下会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆土方会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆野崎(征)会員：

町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆吉川会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆吉川会員：クラブ管理委員会様ご苦勞様でした。目標達成おめでとうございました。

◆嶋田会員：町田会長、相羽幹事一年間ご苦勞様でした。

◆松本ガバナー補佐(福生RC)：お世話になります。

◆佐竹分区幹事(福生RC)：お世話になります。

本日のニコニコ合計： 50,000円
累 計： 1,683,364円

■委員長報告

■野澤地区青少年 交換委員長



今年度、地区の青少年交換委員長を仰せつかり、無事役目を全うし終えることが出来ました。これも多摩分区の皆様の協力のおかげと感謝申し上げます。次年度松本ガバナー補佐のもと青梅さん、福生中央さんと協力頂きありがとうございます。改めまして御礼申し上げます。私も後一年間は残りまして協力していきますのでよろしくお願い致します。

■クラブ協議会(一年を顧みて)

■町田会長



今年度を振り返って

東京東村山ロータリークラブ2008～2009年度の会長を拝命いたしまして、光陰矢の如し、とか、流水留まる所を知らず、と言いますが、早いもので本日の例会が本年度最後の例会になりました。会員の皆様には、一年間愛あるご協力いただき誠にありがとうございます。今年度を振り返ってみますと、社会的には2008年5月頃から食品業界の一部企業による賞味期限の改竄、産地の偽装、内容表示の改竄等、連日性懲りもなくと思える程、モラルの低下の深刻さがマスコミで報道される日本の現状でありました。そして、少なからずの他地区のロータリークラブの会員が関わっていることがインターネット上にリアルタイムに掲載されたのを見るにつき、7月からの新年度の例会時に必ず会長挨拶の時にロータリーの倫理訓となっている、4つのテストを復唱することを決意し、演台の前に4つのテストの標語を掲げ実行をしてみました。

さて、年度スタート直前にクラブ例会の要である例会運営委員長に諸般の事情により當間眞会員に就任をお願いし、役職を全うして頂いた事、感謝申し上げます。2008～09年度はR Iのテーマ「夢をかたちに」そして櫻井権司第2580地区ガバナーのテーマ「おかげさまの心で夢をかたちに」のローガンのもとでスタートでありましたが、まさか本年度の会長としての対外的な最初の役目が、私と同年齢の河野諭直前幹事の弔辞をする事とは百万分の一にも考えておらないことでありました。我が東村山ロータリークラブにとっても、東村山市にとっても、たいへん残念な事でありませんでした。

7月24日に恒例のガバナー公式訪問がありました。今年度で5回目となりました。当八坂神社本殿での会員皆様の安泰祈願は、いつも第一例会に行っておりましたが今年度は我がクラブに7年ごとに役が回ってくる多摩分区分ガバナー補佐に目時俊一会員と地区幹事に戸澤忠会員が選出されましたので櫻井権司ガバナーと鈴木照夫地区幹事の安全祈願を兼ねまして第三例会日に挙行いたしました。8月は西武園遊園地において夏の夜空に咲く美しい華やかな花火を見物しながらと期待していましたが雨天のためモンペールにて納涼家族親睦会を行いました。

10月15日清瀬、東大和、武蔵村山、東村山の4つのクラブによる通称FRCの合同夜間例会がありました。清瀬に住むペーパーアート作家の大田隆司さんの作品の一部と講演があり、たいへん有意義な価値ある合同例会であったと感じました。

24日は分区分のゴルフがありまして当クラブが優勝しましたので分区分代表としてと云うより東村山ロータリークラブの名譽の為に激励の意味でクラブより参加者の登録料のみ援助いたしました。霞ヶ関カントリークラブで行われました2580地区の決勝大会に9名参加いたしましたが残念ながら優勝には遠くおよびませんでした。

11月6日昭島市のフォレスト昭和館にて我がクラブのホストで多摩分区分インターシティーミーティング通称IMを行いました。様々な批判をお聞きしましたが、名誉会員である細淵一男前市長の講演を目玉として会員の皆様のお陰で無事行うことが出来ました。

11月15、16日東村山市市民産業まつりが行われ、社会奉仕委員会の漆原委員長をはじめ会員の皆様のご尽力により、さらには戸澤会員、杵山会員、木下会員の多大な協力によりフランクフルト、たまねぎ、ごぼう等を販売いたしまして、その収益金は東村山消防少年団と交通少年団の育英資金にあてる為に各少年団に寄贈いたしました。同時にカンボジア・ロータリークリアランド・プロジェクトのための募金活動を行いました。この募金活動には各少年団の子供たちが声を張り上げて協力してくれましたが、地雷撤去についての現状を募金活動の関わりの中で子供たちが地雷に対する理解を学ぶ絶好の機会となったのではないかと考えております。また、特にこの時、野崎征吉会員が作った数多くの竹とんぼを提供して頂き、市民にたいへん喜ばれていたのには感動いたしました。

12月に入ると、世界経済についてテレビや新聞紙上には100年に一度の危機とか、1929年の大恐慌以来の不況、73年の石油ショック以来の衝撃などと報道が盛んにされ、株価は一時期の3分の1以下になってしまいました。

20日には西武園のモンペールにてクラブ管理委員会の高橋眞委員長をはじめ、委員会の皆さんの素晴らしい企画のもとで、たいへん楽しいクリスマス家族親睦会を行うことが出来ました。

1月8日にクラブ管理委員会による新年夜間例会を行いました。29日会員研修と職業奉仕委員会の共催で例会時間を30分延長してロータリー理解推進月間に因んでロータリーの勉強会を行いました。夜間に行う事よりは良いのではと感じました。

2月26日と27日には2580地区大会がホテルオータニで武蔵村山RCのホストで行われ全員登録で参加いたしました。

3月23日友好クラブであります宜野湾ロータリークラブの2000回例会、記念式典に木下、樺澤パスト会長と出席しました。記念事業はオオゴマダラの食樹ハウライカガミの植樹でありました。

3月26、27日當麻誠職業奉仕、高橋眞クラブ管理両委員

長の尽力で、職場見学と親睦旅行を行いました。これには東京電力立川支店の多大なる協力を頂きまして神流川発電所と刈羽原子力発電所を見学させて頂きました。

4月より米山奨学生の世話クラブとして韓国から来日して中央大学大学院で学んでいる宋慧珍(ソン ヘジン)さんを引き受けました。

今月に入りまして1990年5月30日に友好クラブとなりました沖繩宜野湾ロータリークラブとの5年間の友好継続の調印を致しました。

昔はよかった、と言う人は大変多い。疑問に思う人はテレビ、雑誌等を視聴されるとよく判る。昔はこのような事はやらなかったのに、今はなんとしたことか?という嘆きと批判を身近でよく聞かれることも多いと感じている。人間は、昔は良かった、と言うのが好きなのだろうと思う。自分自身この言葉をはいたことが何度もある。もし、いつも昔が良ければ人間は進歩がなく、当クラブも42年の歴史が作られなかったでしょう。ロータリーにおける、昔は良かった論は、昔はこうであった論は時の流れ、社会の変革を考えれば単純には一方的に言えないと考えているが、しかし、ロータリークラブの昔は良かった論は会員と飲食しながら、一緒になって昔は良かったと嘆いてみるのが自分の精神衛生のためには良いことだと認識しておくべきであろうと私自身、常に心に持っていたと思っています。孔子の言葉に、故きを温ねて新しきを知らば、以って師となるべし、とある。昔のことを知り、新しい知識や意義を再発見するということである。これがロータリーに於ける昔は論でありたいし、これが一番良いと思っている。父親から貰った昭和3年に出版された講談社、報知新聞社社長で間野清治の書かれた修養雑話という本にも、今の若者たちはだめだ、昔は良かった論が掲載されている。だから人間は昔からこの言葉を発しながら進歩してきているのではないかと思うのであります。昔は良かったと考える人はその時代の社会変化に自分がついていけない人と言わざるを得ない。ですから、自分も社会の変化について行けなくなったのかと残念ながら認めざるをえないのではないかと思っている所であります。

一般的にクラブとは十人十色と言われるように、人が集まれば、みんなそれぞれ違った意見があるのは当然のことです。ですから私自身は事務処理能力に長けている人間ではないことを、実際によく判っているので色々な人に任せればよいと考えてクラブ運営を行って来ました。最初に催事は各委員会にお任せしますと、お話しして御座いましたので各委員会の実践することは口を出さない方針で臨んでいたため、唯我独尊のクラブにおいては、だらしな会长であると言われていたのではないかと思っておりますが、ともあれこの1年間は会員の皆様のご協力のお陰であったと思っております。そして、たいへんきれいな事務所へ孤独に耐えて、ゴキブリという黒い昆虫を友として裏方してくれた菱沼女史ありがとうございます。会員の皆様一年間協力を頂きありがとうございます御座いました。

最後になりましたが、今年度は地区役員として活躍された目時ガバナー補佐、戸澤分区幹事をはじめ9名という多勢の会員が選出されました。皆様、大変ご苦勞でした。以上で会長としての言葉を終わります。ありがとうございます。

■相羽幹事



町田会長よりクラブ幹事を仰せつかり、早一年がたち今日は最後のクラブ例会となってしまいました。一年を省みてとの事ですが、スタート直前にクラブ管理委員会をお願いしておりました小林会員が仕事上のトラブルで退会され、急遽當間眞バスト会長にクラブ奉仕委員長をお願いし、當間さんはじめ、皆様にご迷惑をおかけしてのスタートになりました。会員増強を掲げてのスタートで、土田会員、小町会員に入会をして頂き、二名の増強が出来ましたが、恵面会員、林会員、細測会員、肥沼会員、大仁田会員と五名が大会されました。何より直前幹事の河野論会員の突然のご不幸です。我が東村山ロータリークラブにおいても、大切な人材を失ってしまいました。幹事として、色々な試練を戴いての一年間でした。年間行事についてはクラブ管理委員会の皆様に担当して頂き8月23日西武園にて雨天でしたが花火大会を開催され家族を含めた親睦をはかる事が出来ました。そして11月6日フォレスト・イン昭和館にて、野澤実行委員長指導のもと「IM」をホストクラブとして担当させて頂きました。櫻井権司ガバナーをはじめ、目時ガバナー補佐、戸澤分区幹事、と多くのご来賓の方々にご参加いただき、大変盛大かつ和やかに開催されました事、クラブ奉仕委員会、クラブ管理委員会のご努力と、そして会員皆様のご協力の賜です。感謝しております。恒例であります産業祭に11月8日9日と参加し、ごほう、玉ねぎ、フランクフルトの販売など実施し売上の収益の一部を他の団体の活動費に寄付させて頂きました。地雷除去、ポリオ撲滅の募金などと、成果を出す事が出来ました。クラブ管理委員会の企画により12月18日クリスマス家族親睦会と移動例会を開催し、高橋眞委員長の名司会により会場を盛り上げて頂き、ファミリーの皆様と共に楽しいひと時を過ごすことが出来、感謝しております。多摩分区の東京武蔵村山ロータリークラブが担当され、2月26日27日地区大会がニューオータニで開催されR I会長代理、渡辺好政様を招き、櫻井権司ガバナーのもと盛大に開催されました。当クラブからも多くの会員に参加していただき無事終了することができました。木下国際奉仕室委員に計画していただきました、R I国際大会「イギリスバーミンガム」に大勢の会員の皆様が参加予定でしたが、新型インフルエンザの激震が走り急遽、参加を取り止めになられた会員も多く大変残念でなりません。少人数で参加されております。樺澤ツアー委員長代理御一行は今頃、国際大会に参加されている頃でしょう。

皆様のご協力のおかげで、幹事の大役を無事に過ごすことができ、本当に1年間ありがとうございました。

■点鐘：町田会長